

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 京都市立梅津北小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 615-0931

京都市右京区梅津開キ町16

E-mail umedukita-s@edu.city.kyoto.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 185名 女子 189名 合計 374名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、「有栖川を軸とした環境教育」を活動テーマとして、ESDを持続可能な地域環境保全活動と捉え、ESDの実践を通して、子どもたちが自主的に環境問題へ取り組む力の育成を目標とした。

具体的には、本校脇に流れる「有栖川に親しむ」「有栖川の環境を調べる」「有栖川の環境を守る」、さらに「ゴミの分別」を柱に、①有栖川での川遊び(1・2年生活科)②有栖川の水質調査(環境委員会)③有栖川清掃(高学年)④ゴミの分別(全校)を行った。

① 有栖川での川遊び(1・2年生活科)

毎年、地域の「有栖川を考える会」の方々にサポートしていただき、有栖川での川遊びを行っている。今年度も、1・2年生の子どもたちは、まず川の楽しさ・素晴らしさ・怖さについてお話していただいたり、投網の実演を見せていただいたりした後、実際に川に入って魚などの生き物探しや採集活動をし、川と親しむことができた。

② 有栖川の水質調査（環境委員会）

環境委員会では、2年前から有栖川の水質調査を行い、学校新聞等で全校へ発信し、有栖川の環境保全を訴えている。調査方法は、パックテストと水中生物による調査である。水中生物での水質調査については府の環境管理課の方々に出向いていただき、調査の手助けも受けている。結果は、京都府内の河川水質調査のデータとして報告している。

③ 有栖川清掃（高学年）

保護者や地域の方々にも協力していただいて、毎年夏に環境教育の一環として有栖川清掃を行っている。安全を考慮して、高学年が川に入っただけの清掃を行っているが、『高学年になったら川に入れる。』という一種の憧れにもなっている。

④ ゴミの分別（全校）

本校でも、昨年度より「燃やすごみ・プラごみ・雑紙」の分別が始まったが、当初はその分別が上手くできていない傾向にあることを問題とし、環境委員会が掃除の時間に分別の仕分けを手伝ったり、分別についての呼びかけをしたりして、ゴミを減らす活動を続けている。



① の写真（キャプション）



② の写真（キャプション1）



② の写真（キャプション）



③ の写真（キャプション）



④ の写真（キャプション）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

環境教育に重点を置いて、各学年での環境に関する学習内容を年間計画の中に取り込んでいる。1・2年では、生活科の学習の中で、季節による有栖川周辺の様子を観察したり、夏に川遊びを行ったりしている。3～6年では、主に総合学習の時間の中に、環境に関する内容の学習をそれぞれのテーマの中に取り入れている。外部の方に来ていただき、出前授業として、ソーラー発電や化学（水の環境）などの視点から、幅広く発展的に学習を進めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

環境教育や地域教育に理解のある地域の各種団体にも協力していただき、学校全体のカリキュラムに組み込んでの学習活動にしているため、これまでも続けてきた有栖川に関する活動については、今後も継続して、本校の教育活動に組み込まれていくと考える。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校での環境教育に関する活動に対して、子どもたちは、「川遊びをまた来年も是非やりたい。」という感想を全員がもったことや、水生生物の調査をした子どもたちも「思ったよりいろいろな生き物がいて驚いた。」という感想をもち、川に入った子どもたちに限らず、教師もさらに興味関心を強くもつようになった。学校が取組に支援して下さる団体や、少年補導の夏休みのイベントで、毎年有栖川での宝探しや笹舟流しなど、共に有栖川に親しむ活動を行っていることを考えると、本校の環境教育に賛同していただいていると考える。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

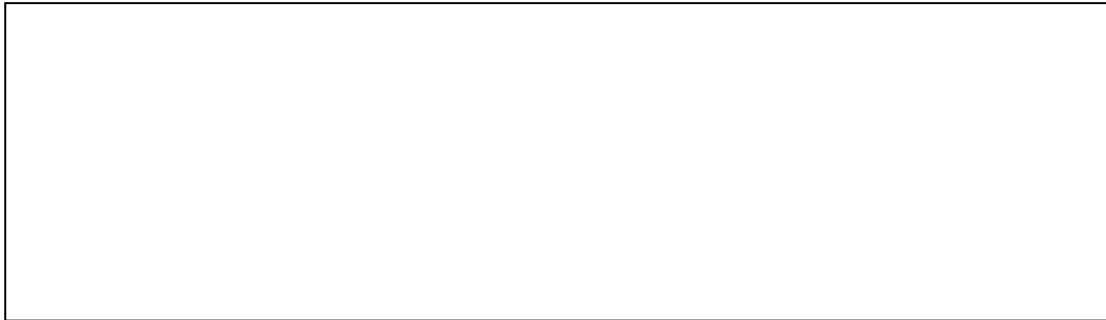
本校の活動成果を外部へ発信するという取組は、特別に行っていないので、有栖川の水質調査の結果を京都府の河川水質調査のデータとして報告することということになる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

1・2年生の生活科「川遊び」が、毎年「有栖川を考える会」にお世話になっている。環境委員会の有栖川水質調査では、パックテストのほかに水生生物による水質調査を行っているが「京都府環境管理課」の方が来てくださり支援していただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応



(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今年度に準じて、有栖川を題材にした環境学習を中心に、各種団体の協力もいただきながら全学年を通して取組を行う。環境委員会では、川の水質調査を引き続き行い、環境保全を発信していく。総合的な学習等で、外部の出前授業も活用し、発展的に環境学習を進めていく。また、日常の活動として、ごみの分別に取り組んでいく。

具体的には、低学年では生活科の学習で、3～6年では総合的な学習の中でそれぞれの学年のカリキュラムの中で実施していく。水質調査については、昨年に引き続き調査結果を壁新聞にして全校へ発信する。また、環境クイズラリーを行って有栖川を身近な環境として大切にしていける活動を進めていく。